

三菱UFJ国際 インカムバランスファンド (年6回決算型)

愛称：実りの定期便

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2020年3月17日～2020年9月15日

第13期決算日：2020年5月15日

第14期決算日：2020年7月15日

第15期決算日：2020年9月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、日本を含む先進国の株式・債券・不動産投資信託証券等や新興国の国債を実質的な主要投資対象とし、価格下落リスクに配慮しつつ安定的な利回りの獲得をめざして資産配分を行い、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第15期末 (2020年9月15日)

基準価額 7,716円

純資産総額 1,353百万円

第13期～第15期

騰落率 +3.7%

分配金合計(*) 90円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

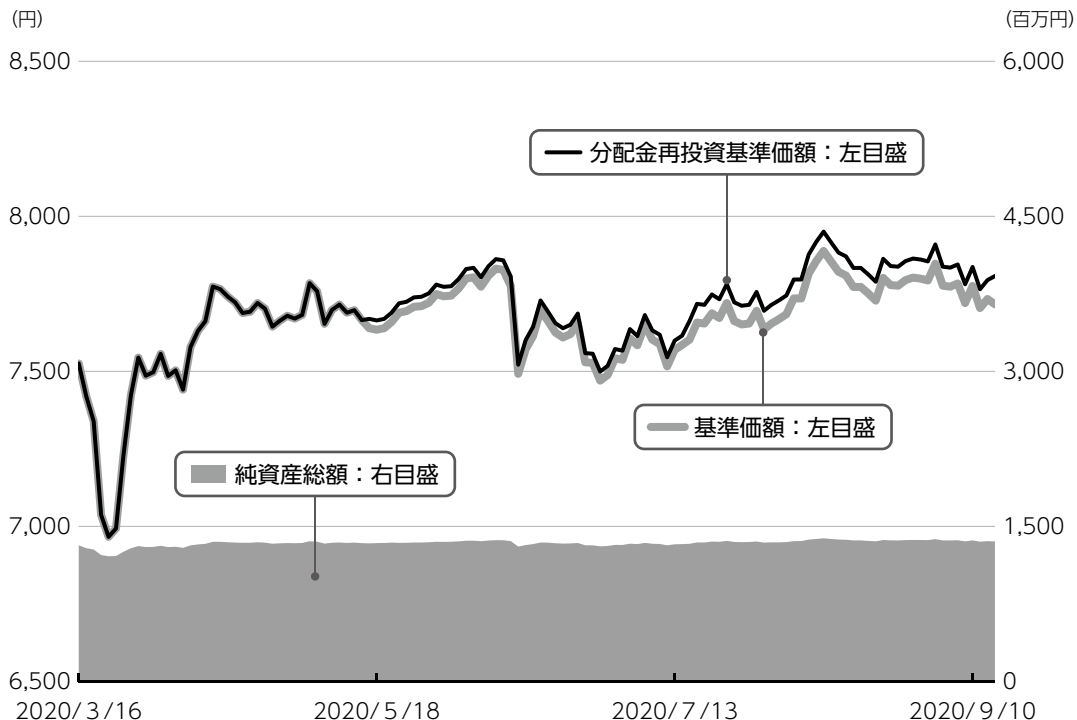
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第13期～第15期：2020年3月17日～2020年9月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第13期首	7,525円
第15期末	7,716円
既払分配金	90円
騰落率	3.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

世界的な株高などを背景にリスク選好の動きが強まりバンクロン価格が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

2020年3月17日～2020年9月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第13期～第15期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	44	0.579	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(21)	(0.276)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(21)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	40	0.518	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(40)	(0.518)	
(c) 有価証券取引税	0	0.003	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
(d) その他費用	1	0.018	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.015)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	85	1.118	

作成期中の平均基準価額は、7,657円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

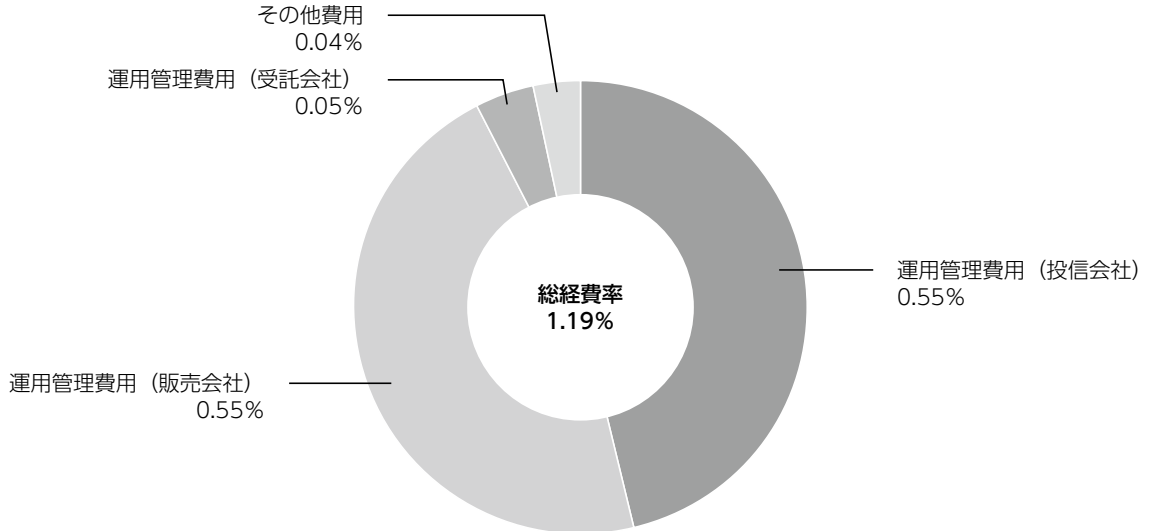
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.19%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

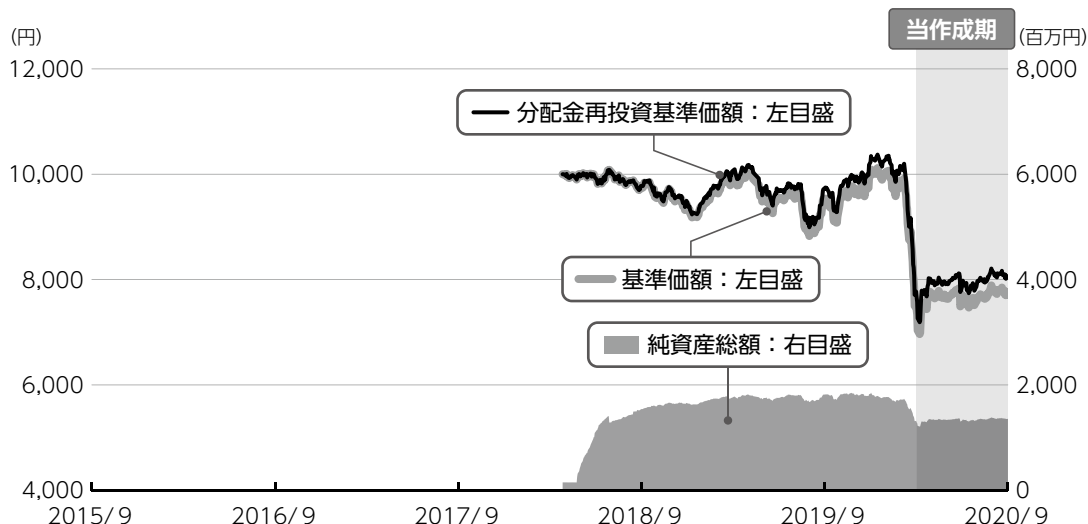
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2015年9月15日～2020年9月15日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

				2018/9/18 期初	2019/9/17 決算日	2020/9/15 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	9,747	9,536	7,716
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	—	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	—	—	—	-0.3	-17.3
純資産総額 (百万円)	—	—	—	1,542	1,818	1,353

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第13期～第15期：2020年3月17日～2020年9月15日

投資環境について

▶ 先進国株式市況

先進国株式は上昇しました。

先進国株式は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気減速懸念の高まりなどから2020年3月下旬にかけて急落しましたが、その後は各国の積極的な財政政策・金融緩和や経済活動制限の緩和などが好感され、堅調となりました。

▶ 先進国債券市況

先進国債券は上昇しました。

2020年3月中旬にかけて、世界的に保有資産の資金化の動きが強まったことなどをを受けて主要先進国の長期金利は急上昇しました。その後、新型コロナウイルスの感染再拡大懸念や、各国の金融緩和策の拡大等を背景に米国などの長期金利は低下しました。

▶ バンクローン市況

バンクローンは上昇しました。

バンクローンは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気減速懸念の高まりなどから2020年3月下旬にかけて急落しましたが、その後は世界的な株高などを背景にリスク選好の動きが強まったことなどから堅調に推移しました。

▶ 為替市況

豪ドルや英ポンドは対円で上昇しました。

主要通貨は、2020年3月中旬にかけて新型コロナウイルスの感染拡大による景気減速懸念などを背景に対円で急落しました。その後は、世界的な株高などリスク選好の流れから豪ドルや英ポンドは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ国際インカムバランスファンド（年6回決算型）

インカムバランス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む先進国の国債に投資するほか、先進国の株式、投資適格債、ハイ・イールド債、不動産投資信託証券、バンクローン、不動産担保証券等および新興国の国債を投資対象とする上場投資信託証券を投資対象として運用を行っています。

価格下落リスクに配慮しつつ安定的な利回りの獲得をめざして資産配分を行いました。資産配分比率は、定量的手法を活用し、組入資産の加重平均利回りが年率4%程度^{*}となることをめざして資産配分を決定します。なお、作成期末時点での組入資産の加重平均利回りは5.1%程度となりました。

※資産配分の決定にあたり市場局面が悪化したと判断される場合には、ファンド全体のリスクを低下させるため、先進国の国債の組入比率が高い資産配分となります。この場合、組入資産の加重平均利回り水準は4%程度とならないことがあります。

ファンドは、資産配分において「組入資産の加重平均利回り」が年率4%程度となることをめざします。このため、ファンドのトータル・リターン（総損益率）、インカム収益（配当等収益）や収益分配金の水準が一定の水準となることを示唆または保証するものではありません。ファンドの基準価額は市況動向の影響を受け下落し、投資者のみなさまの投資元本を割り込むことがあります。

ファンドが資産配分においてめざす組入資産の加重平均利回りは、将来変更となる場合があります。市況動向の影響を受けるため、組入資産の加重平均利回りが年率4%程度を上回ることや下回ることがあります。よって、上記の組入資産の加重平均利回りの水準が必ず達成または維持されることを示唆・保証等するものではありません。

年率4%程度の利回りは税金・手数料（ファンドの信託報酬を含む）を考慮したものではありません。また、ファンドの「組入資産の加重平均利回り」が必ず年率4%程度となることを保証するものではありません。

ファンドにおける組入資産の加重平均利回りは、債券等については為替ヘッジに係るコスト／プレミアム（金利差相当分の費用／収益）を考慮した最終利回り、株式・リート等においては配当利回りをを用いて算出したものをいいます。

(ご参考)

■資産クラス別組入比率

	作成期首	作成期末
先進国株式	23.3%	38.6%
ハイ・イールド債	0.0%	28.9%
新興国国債	0.0%	17.9%
不動産担保証券	31.0%	0.0%
バンクローン	25.1%	11.2%
アメリカ国債	18.4%	0.0%
短期金融資産	2.3%	3.4%

・組入比率は純資産総額に対する割合です。

▶インカムバランス・マザーファンド

日本を含む先進国の株式・債券・不動産投資信託証券等や新興国の国債を実質的な主要投資対象とし、価格下落リスクに配慮しつつ安定的な利回りの獲得をめざして資産配分を行いました。資産配分比率は、定量的手法を活用して決定しました。

2020年4月のポートフォリオ見直しでは、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に市場局面は悪化傾向にあると判断し、不動産担保証券等の組入れを引き下げ、日本国債等の組入れを引き上げました。

5月のポートフォリオ見直しでは、主要国が経済活動制限の段階的解除に動き出したことなどを背景に市場局面は改善傾向にあると判断し、日本国債等の組入れを引き下げ、不動産担保証券等の組入れを引き上げました。

6月は、市場局面は更に改善傾向にあると判断し、不動産担保証券等の組入れを引き下げ、新興国国債等の組入れを引き上げました。

7月のポートフォリオ見直しでは、市場局面は引き続き改善傾向にあると判断され、新興国国債等の組入れを引き下げ、バンクローン等の組入れを引き上げました。

8月は、市場局面は改善が続いているとのモデルの判断に基づき、ハイ・イールド債等の組入れを引き下げ、新興国国債等の組入れを引き上げました。

9月は、市場局面はやや悪化傾向にあるとの判断に基づき、バンクローン等の組入れを引き下げ、ハイ・イールド債等の組入れを引き上げました。作成期末まで当りバランスによる配分比率を維持しました。

組入資産の加重平均利回りが年率4%程度となることを目指した運用を行い、インカム収益を積み上げました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配金額の決定にあたっては、配当等収益からの分配を行うことを基本としますが、安定的な分配のため、それ以外の分配対象収益からも分配を行う場合や配当等収益を全額分配しない場合があります。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第13期 2020年3月17日～ 2020年5月15日	第14期 2020年5月16日～ 2020年7月15日	第15期 2020年7月16日～ 2020年9月15日
当期分配金（対基準価額比率）	30 (0.391%)	30 (0.393%)	30 (0.387%)
当期の収益	28	30	30
当期の収益以外	1	—	—
翌期繰越分配対象額	413	418	421

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱UF J国際 インカムバランス ファンド（年6回決算型）

マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持する方針です。

▶ インカムバランス・マザーファンド

今後もファンドの運用においては、定量的手法を活用し、価格下落リスクに配慮しつつ安定的な利回りの獲得をめざした運用を行う方針です。

資産配分の見直しは原則として毎月行います。市場局面に関しては日々確認を行い、急変したと判断される場合には適宜資産配分の見直しを実施いたします。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

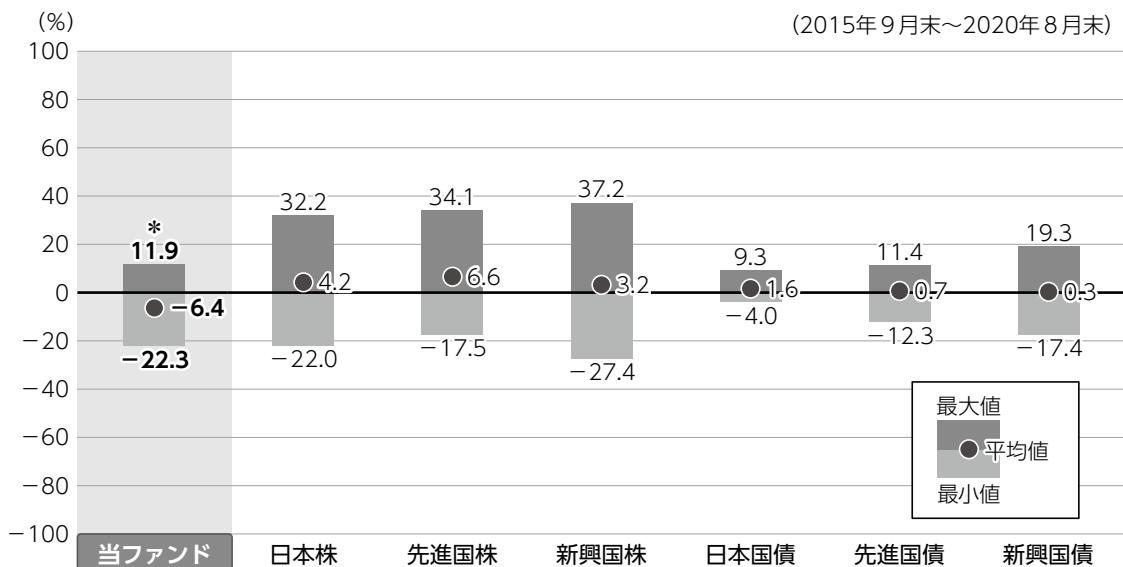
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2028年3月15日まで（2018年4月12日設定）
運用方針	<p>インカムバランス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、先進国（日本を含みません。以下同じ。）の国債に投資するほか、先進国の株式、投資適格債、ハイ・イールド債、不動産投資信託証券、バンクローン、不動産担保証券等および新興国の国債を投資対象とする上場投資信託証券に投資を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産のうち、先進国の国債ならびに、先進国の投資適格債、ハイ・イールド債、バンクローン、不動産担保証券等および新興国の国債を投資対象とする上場投資信託証券に関しては、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行います。その他の実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド インカムバランス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■インカムバランス・マザーファンド 先進国の国債ならびに、先進国の株式、投資適格債、ハイ・イールド債、不動産投資信託証券、バンクローン、不動産担保証券等および新興国の国債を投資対象とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
運用方法	主として日本を含む先進国の株式、債券、不動産投資信託証券等や、新興国の国債を実質的な主要投資対象とし、利子・配当等収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2015年9月から2020年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2019年4月～2020年8月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2020年9月15日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第15期末 2020年9月15日
インカムバランス・マザーファンド	99.5%

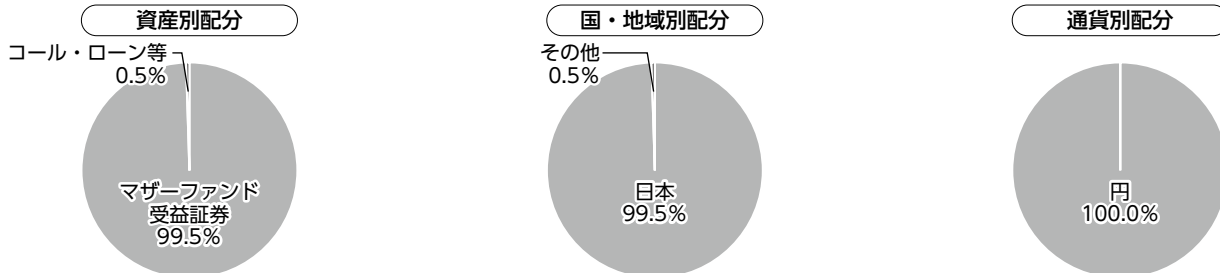
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第13期末 2020年5月15日	第14期末 2020年7月15日	第15期末 2020年9月15日
純資産総額 (円)	1,334,510,810	1,330,605,350	1,353,212,086
受益権口数 (口)	1,746,984,761	1,750,447,029	1,753,841,356
1万口当たり基準価額 (円)	7,639	7,602	7,716

※当作成期間中（第13期～第15期）において追加設定元本は63,474,995円
同解約元本は 58,625,700円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

291528

2020年9月15日現在

組入上位ファンドの概要

インカムバランス・マザーファンド

基準価額の推移

2020年3月16日～2020年9月15日



1万口当たりの費用明細

2020年3月17日～2020年9月15日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	42 (42)	0.521 (0.521)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.016 (0.015)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	43	0.540

期中の平均基準価額は、8,128円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：5銘柄)

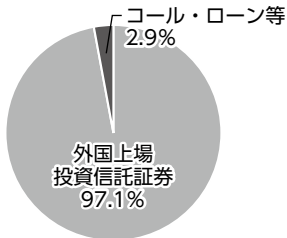
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	SPDR BBG BARC HIGH YIELD BND	ETF	アメリカ	—	29.1
2	INVESTCO S&P 500 HIGH DIVIDEN	ETF	アメリカ	—	19.6
3	ISHARES UK DIVIDEND	ETF	アイルランド	—	19.2
4	ISHARES JP MORGAN USD EMERGI	ETF	アメリカ	—	18.0
5	INVESTCO SENIOR LOAN ETF	ETF	アメリカ	—	11.2
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

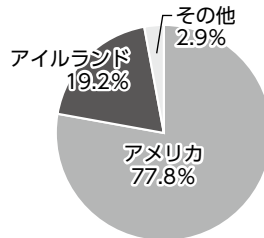
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

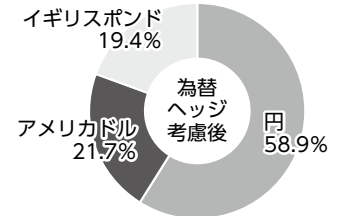
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信